

発行所

株式会社 FPシミュレーション

大阪府中央区平野町3-1-10 Tel:06-209-7678

編集発行人：税理士 三輪 厚二 Fax:06-209-8145

◆ 期末棚卸資産の評価

Q：期末棚卸資産の評価方法には、どのような方法があるのでしょうか。

A：期末棚卸資産の評価方法は、原則として下記の方法の中から、会社の棚卸資産の性質や計算の手間等を考慮して選択します。

なお、選定の届出書を提出しなかった場合には、最終仕入原価法による原価法で評価しなければなりません。

(1)原価法

次のいずれかの方法により算出した取得価額をもって期末評価額とする方法です。

- ①個別法 …… 宝石、書画等個々の受払が明確なものに適用されます。
- ②先入先出法 …… 物価下落時には節税につながります。
- ③後入先出法 …… 物価上昇時には節税につながります。
- ④総平均法 …… 計算が簡単です。
- ⑤移動平均法 …… 払出のつど払出原価を把握することができます。
- ⑥単純平均法 …… 計算は簡単ですが、会計上は望ましくないとされています。
- ⑦最終仕入原価法 …… 時価法に近い方法といえます。
- ⑧売価還元法 …… 小売店やスーパー等に適しています。

(2)低価法

上記8種類の原価法のいずれかによって算出された評価額と期末の時価のうち、いずれか低い方を期末評価額とする方法です。

